

(2)土地利用

本地域の土地利用は、住宅地と教育機関などの公共施設や商業・業務施設などがみられ、中部から西部にかけて商業・業務施設が多く立地している。住宅は東半部に多くみられ、木造低層住宅と中高層の集合住宅がある。

商業・業務施設は大小様々な規模のものが業務ビルとして西部に分布している。

学校などの公共施設は中部には啓発小学校が、西部には中島中学校がある。公園は各所に中～小規模なものが点在している。

(3)道路網

本地域の広域幹線道路は、西側には新御堂筋が南北に通り、南側を大阪高槻線が東西に通っている。地域内には、西寄りに南北にやや幅員の広い道路が通っている。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、中部以南の地域にみられる。

狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向が、しにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、北部などの住宅地区に多くみられる。

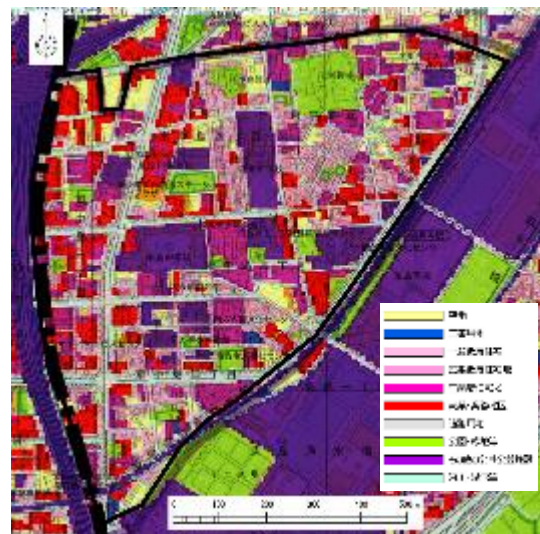
2-4.災害予測等

(1)水害予測

①淀川外水氾濫

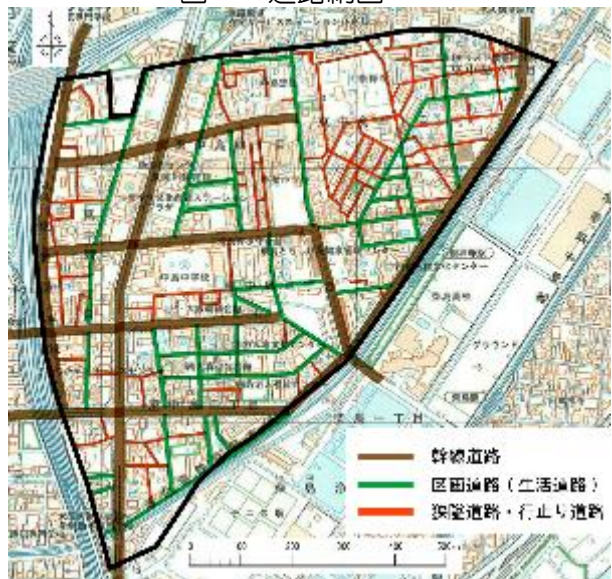
淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は3m～4mで、西部にみられ、東部の市街地では1m～2mの浸水深となる予測である。収容避難所である啓発小学校、中島中学校は、1階まで浸水

図 土地利用図



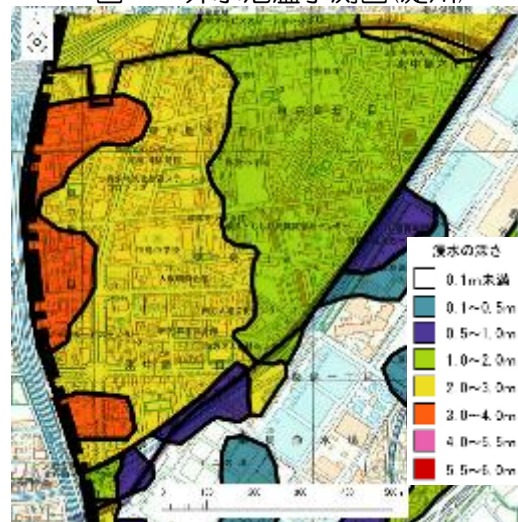
資料) 国土地理院

図 道路網図



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

図 外水氾濫予測図(淀川)



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

する予測となっている。

②神崎川・安威川の外水氾濫

神崎川・安威川の外水氾濫予測図では、淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は0.5m～1mで、西部の一部にみられ、中部、南部は浸水しない。収容避難所である啓発小学校は、1階まで浸水しない予測となっている。

③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.5m～1.0mの浸水深が西部の一部にみられる。

啓発小学校、中島中学校は1階は浸水しない予測となっている。

(2)地震予測

①震度予測

南海トラフを震源とする地震が活動した時の震度予測は、本地域は全域が震度6強の激しい揺れが発生するものと予測されている。



②液状化

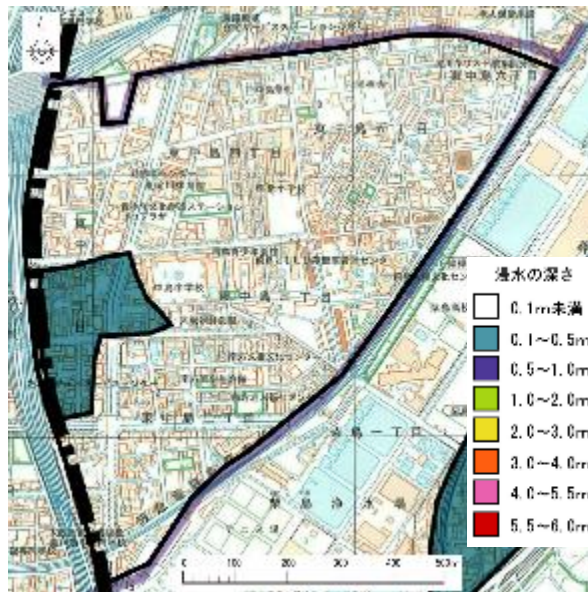
地盤の液状化はその土地の地下に堆積する砂層の分布や固結度、地下水位などの状況により大きく変化する。

本地域の液状化の危険性は、全般に高く、北部、中部で特に高く、発生しやすい地区がみられる。

(3)東海・東南海・南海地震の予測

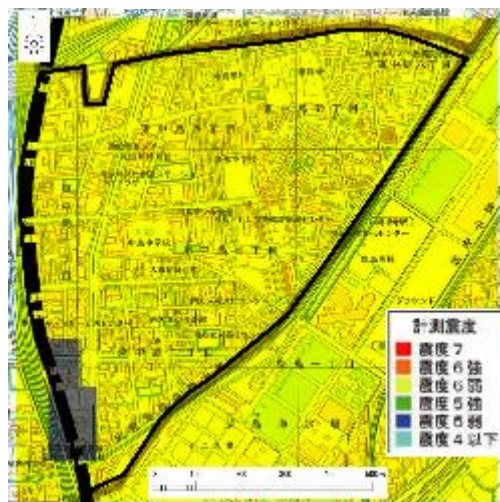
平成24年8月に、内閣府から発表さ

図 内水氾濫予想区図



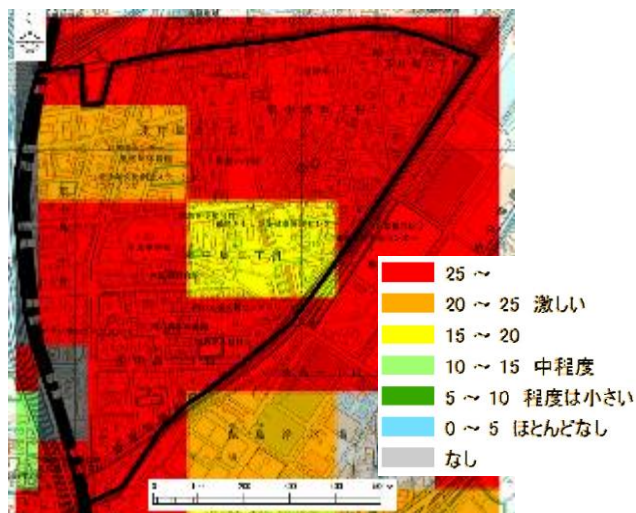
作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

図 震度予測図



資料) 大阪府

図 液状化予測図



資料) 大阪府